

リーチインショーケース

取扱・据付工事説明書

形名

MRS シリーズ

MRF シリーズ

MWS シリーズ

もくじ

安全のために

- 安全上のご注意 ······ 1~2

ご使用の前に

- 各部の名前とはたらき ······ 3~4
- 注意ラベル ······ 5
- お使いになる前に ······ 6

使いかた

- 正しい使い方 ······ 7
- 運転のしかた ······ 7
- 停止のしかた ······ 7
- 庫内温度の調節 ······ 8
- 照明スイッチの使いかた ······ 9~10
- 霜取りおよび排水 ······ 11
- 扉防露ヒーター通電率設定について ······ 11
- いたずら防止機能設定方法 ······ 12
- 棚板・棚網の使いかた ······ 13
- 食品の入れかた ······ 14

お手入れ

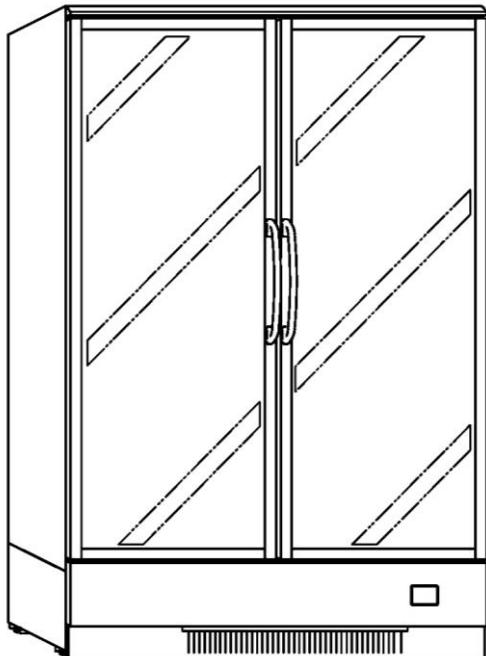
- お手入れと点検 ······ 15
 - ・定期点検について ······ 16
 - ・毎日のお手入れ ······ 16
 - ・1週間に1回のお手入れ ······ 16
 - ・1カ月に2~3回の点検 ······ 16
 - ・1カ月に1回の点検 ······ 17
 - ・1年に1~2回の点検 ······ 17

点検・サービス

- 修理を依頼する前に ······ 18
- 移設・廃棄・譲渡 ······ 19
- 保証とアフターサービス ······ 20~21

据付工事説明書

- このたびは、リーチインショーケースをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解してください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。



安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が、想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△ は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 電源プラグをコンセントから抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します

△ 警 告

据付けは、販売店または専門業者に依頼すること

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。



据付け工事は、本書に従って確実に行うこと

- 据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。



据付けは、製品の重量に十分耐える所に確実に行うこと

- 強度不足や取り付けが不完全な場合は、製品の転倒・落下によりケガの原因になります



電気工事業者によるD種接地工事を実施すること

- アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります



電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

- 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。



電源は専用コンセントを使用し、電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしないこと

- 感電や発熱・火災の原因になります。



専用電源には漏電遮断器を取り付けること（漏電遮断器付の製品には不要です）

- 販売店、または資格のある専門業者にご相談ください。
漏電遮断器が付いていない場合は感電または火災の原因になることがあります



屋外で使用しないこと

- 雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。



湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据付けないこと

- 絶縁低下から漏電・感電の原因になります



製品に直接水をかけないこと

- ショート・感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグ等の電気部品に触れたり、スイッチ操作をしないこと

- 感電の原因になります。



電源コードを傷つけないこと

- 加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、束ねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、がたつきのないように歯の根元まで確実に差し込むこと

- ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



酸などの腐蝕性ガスのある場所には据え付けしないこと

- 冷却回路や電気品の腐蝕により絶縁が低下して漏電・感電・故障の原因になります。



揮発性・引火性のあるものは庫内に入れたり、近くで使用しないこと

- 爆発や火災の原因になります。



扉にぶらさがらないこと

- 扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。



異常時は漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと

- 異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



漏電遮断器が『OFF(切)』に作動した場合には、販売店または専門業者に連絡すること

- 無理に『ON(入)』にすると感電・火災などの原因になります。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行わないこと

- 分解・修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります



保護装置の設定値を変更しないこと

- 製品の破裂・発火の原因になります。



電気装置や内部配線には触らないこと

- 感電の原因になります。



いかなる場合も改造は行わないこと

- 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。



修理時に電気装置を触る場合は必ず電源プラグを抜いてから6分以上経過後に行うこと

- 基板に電荷が残っているため、感電の原因になります。



製品を一時的に使用を中止して保管する場合は、幼児が遊び場所を避け扉を密閉できないようにすること

- 幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。



移設は、販売店または専門業者に相談すること

- 据付けに不備があると水漏れ・感電・火災等の原因になります。



廃棄は専門の業者に依頼すること

- 放置しますと幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。



△ 注意

床面が丈夫で平な所に水平になるように据付け、
転倒防止の処置をすること。

●据付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下による
ケガなどの原因になることがあります。



設置注意

水にぬれても大丈夫な所に据付けること

●使用条件等によっては結露水などが床に落ちることがあり、
家財をぬらしたり足をすべらして転倒する等ケガなどの
原因になることがあります。



設置注意

排水工事は本書に従って、確実に行うこと

●排水などが屋内に浸水し、家財などを濡らす原因に
なることがあります。



排水工事

食品の展示販売用として使用すること

●目的外の用途でご使用されますと保存品の品質低下などの
原因になることがあります。



用途注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って
抜かないこと

●電源コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して
発熱、発火の原因になることがあります。



電源プラグの抜き差しによる製品の運転、停止は行
わないこと（漏電遮断器または配電ブレーカーを
OFFにすること）

●感電やショートの原因になることがあります。



漏電遮断器は月に1回以上動作確認すること

●漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに
作動せず、感電の原因になることがあります。



動作点検

排水ホースに詰まりがないか、年に1～2回点検を
行うこと

●排水ホースが詰まると、漏水から周囲（家財等）を
ぬらす原因になります。



排水点検

掃除をするときや点検のときは、必ず漏電遮断器または配電ブ
レーカーを『OFF(切)』にしてから電源ブ
ラグを抜くこと

●感電やファンによるケガ、ヒーターによる火傷の
原因になることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

製品の上にものを置かないこと

●転倒・破損・落下などによりしケガをしたり、
電気部品の絶縁が悪くなり漏電の原因になるこ
とがあります。



禁止

機械室に手を入れないこと

●内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因
になることがあります。



挿入禁止

冷凍リーチインにはピンやカン類を入れないこと

●中身が凍って割れ、ケガの原因になることがあります。



禁止

譲渡の際はこの「取扱説明書」を商品本体の目立つ
所にテープ止めすること

●新しく所有者となる方が安全で正しい使い方を知るために
必要となります。



注意

冷蔵リーチイン、ワイン専用リーチインの吹出口には
ピンやカン類を入れないこと

●中身が凍って割れ、ケガの原因になることがあります。



禁止

冷凍リーチイン内の食品や容器、特に金属製の
ものにはぬれた手で触れないこと

●凍傷の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かな
いようにすること

●スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることが
あります。



可燃物禁止

吹出口や吸入口に指や棒などを入れないこと

●内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になる
ことがあります。



注意

ガラス扉に物をあてたり、強い力をくわえないこと

●ガラスが割れてケガの原因になることがあります。



注意

棚板や棚網には1枚当たり60kg以上の物を
のせたり、投げ入れたりしないこと

●棚網落下によりケガの原因になることがあります。



禁止

清掃のためフィルターを外すときは、凝縮器フィンに
直接手を触れないこと

●ケガの原因になることがあります。



挿入禁止

一週間使用しない場合は、安全のため漏電遮断器または
配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグ
を抜くこと

●ほこりが溜まって発熱、発火の原因になることが
あります。



電源プラグを
コンセントから抜く

照明を交換するときは必ず漏電遮断器または配電ブ
レーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと
●感電やケガ、火傷の原因になることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

製品を移動するときは、転倒・落下に十分注意すること

●転倒・落下によるケガの原因になることがあります。



転倒禁止

製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから
抜き、電源コードを傷つけないように移動すること

●電源コードの損傷により、感電・発火の原因
になります。



電源プラグを
コンセントから抜く

製品を移動するときは、食品及び棚網・棚板等の部品
は取り出すこと

●落下によるケガの原因になることがあります。



注意

棚板や棚網の取付けは、正しく確実にセットすること

●脱落するケガの原因になります。

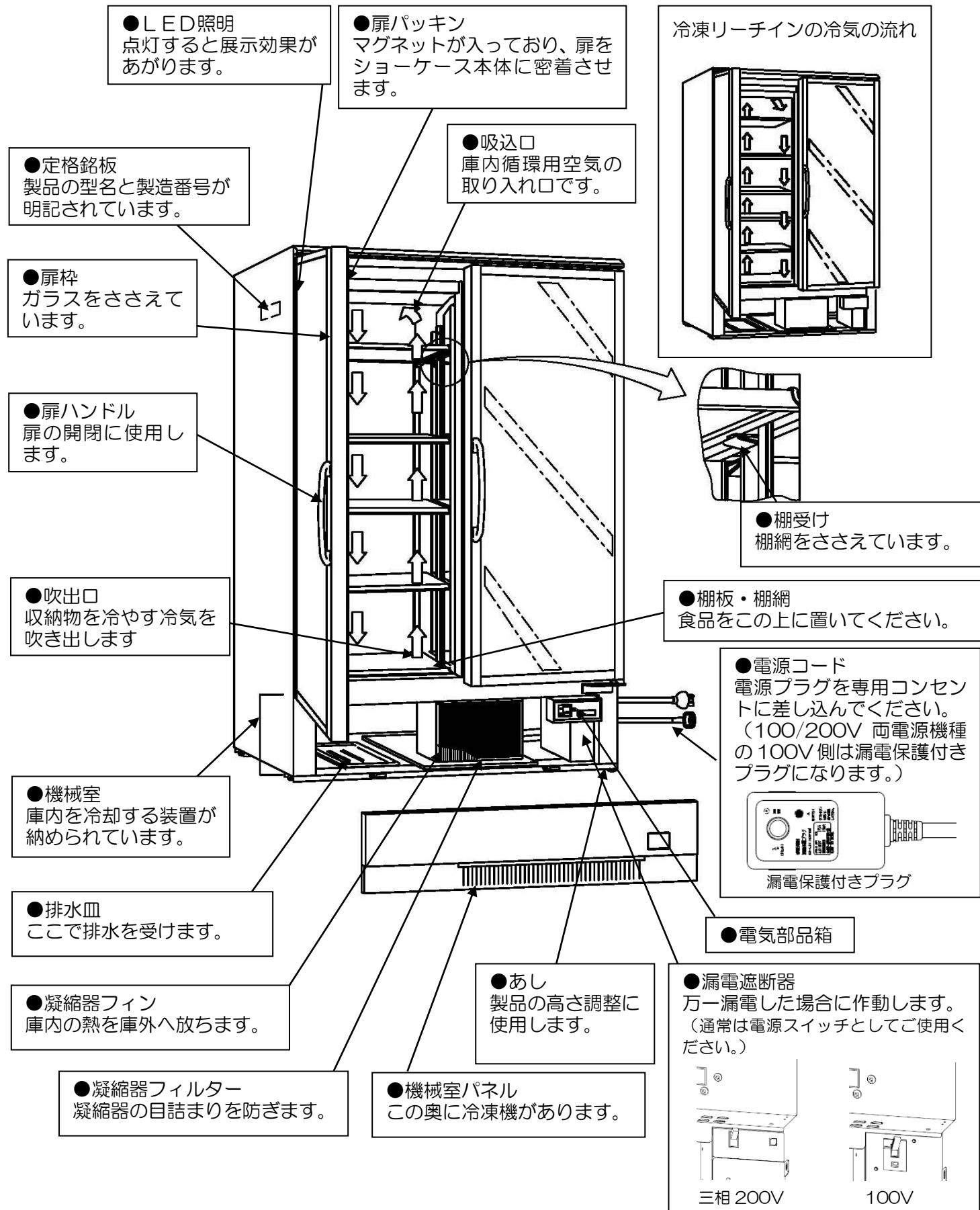
（正しく取付けないと脱落するおそれがあります。）



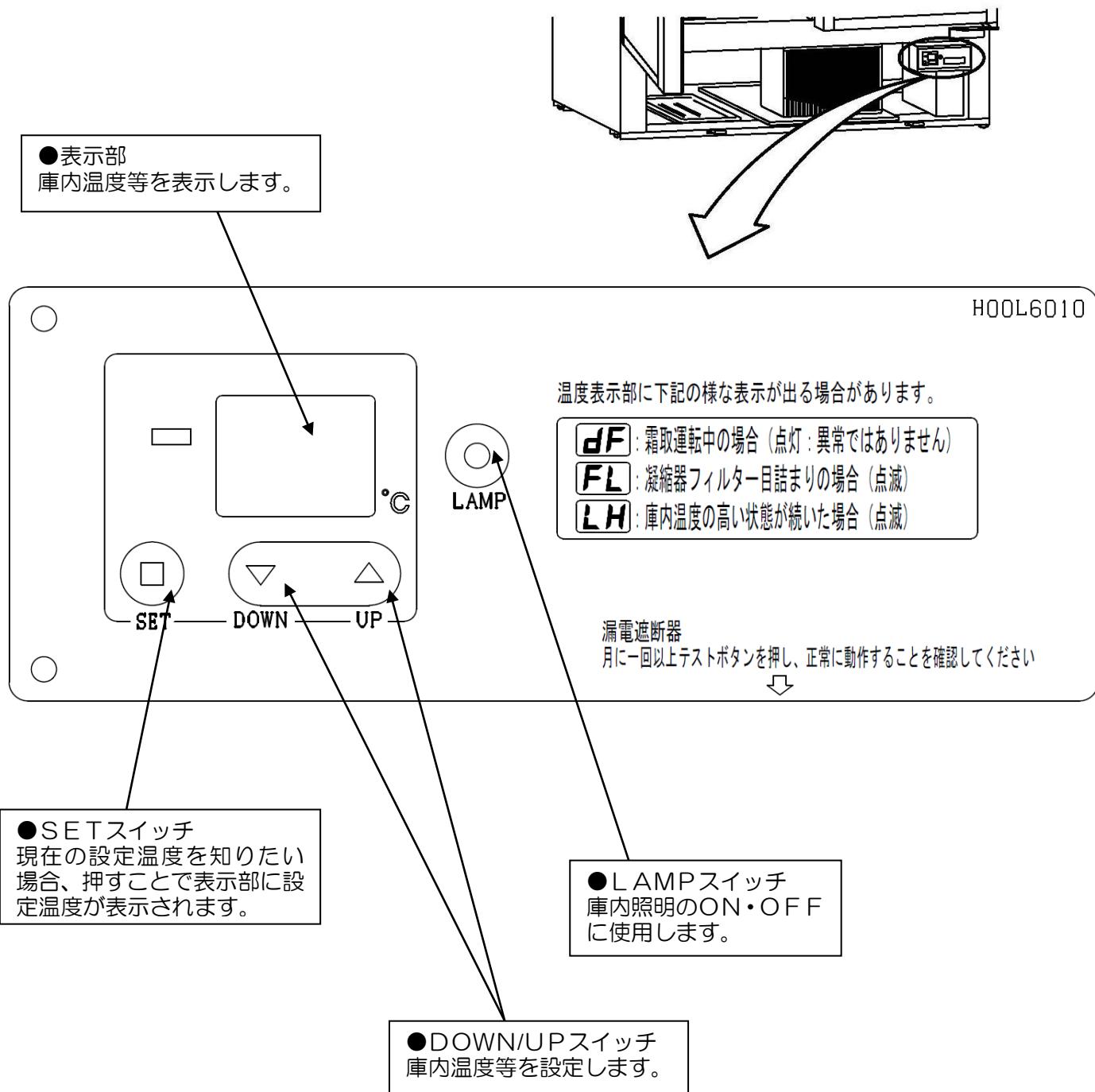
注意

各部のなまえとはたらき

●冷蔵リーチインは食品を冷蔵で、冷凍リーチインは食品を冷凍で展示販売するための製品です。



■操作部



注意ラベル

お手入れについて

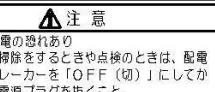
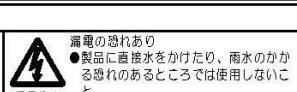
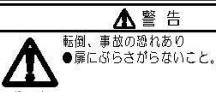
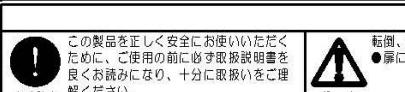
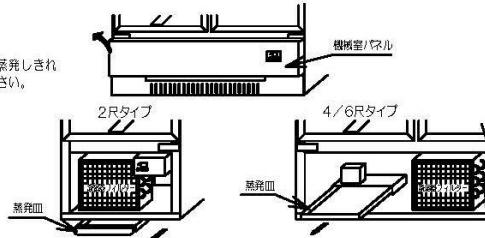
- ドレン排水の処理について (機械室パネルは、上方を手前に引き上げれば外れます。)

除露水は機械室内の冷凍機下にある蒸発皿にたまります。その後、除露水は自然蒸発しますが、梅雨時や湿度の高い時は、蒸発しきれない場合があります。梅雨時や湿度が高い時は1日の中でも定期的に蒸発皿の水を点検し、水がたまつていれば捨ててください。

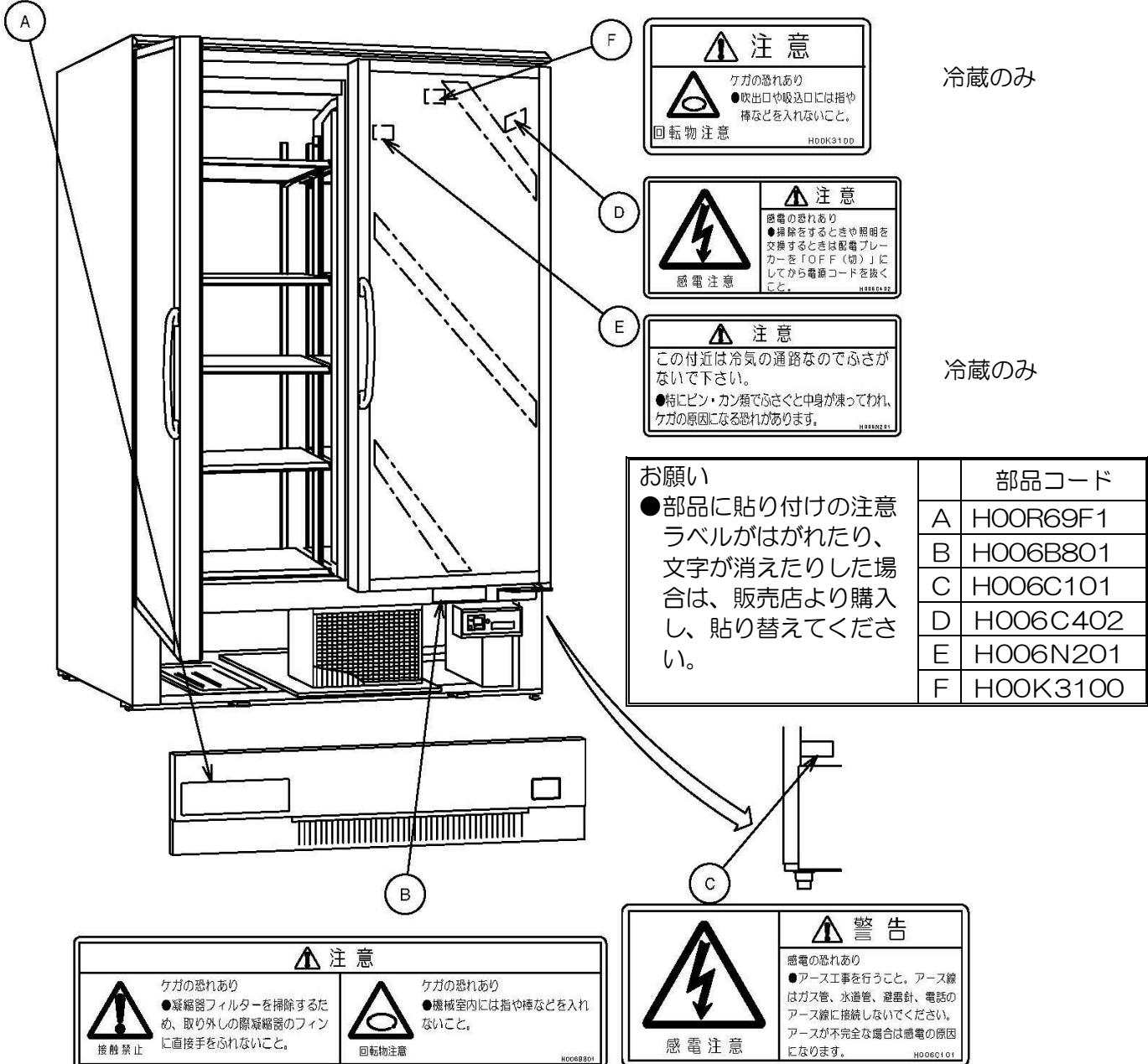
- 凝縮器フィルターについて (機械室パネルは、上方を手前に引き上げれば外れます。)

凝縮器フィルターは月に3回程度、取扱説明書の「お手入れと点検」に従って掃除してください。
凝縮器フィルターは目つまりすると冷えにくくなり電気代もかさみ故障の原因となります。

Call **【株式会社】フクシマガリレイサポートダイヤル**
0120-213-521 (平日 9:00~17:00)

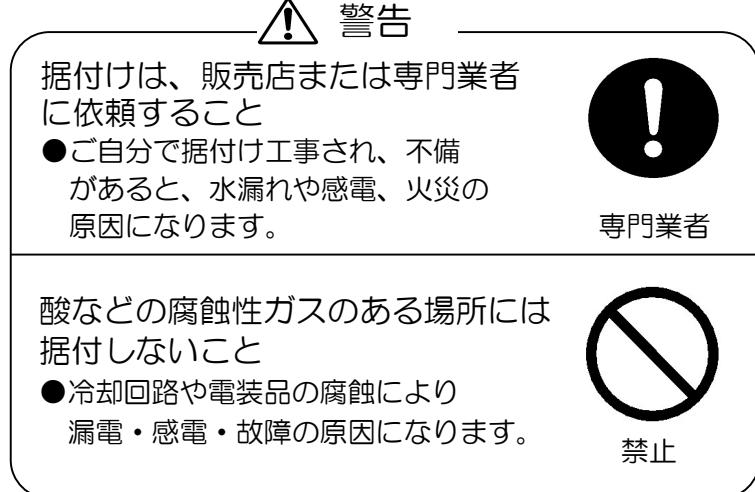


H00R69F1



お使いになる前に

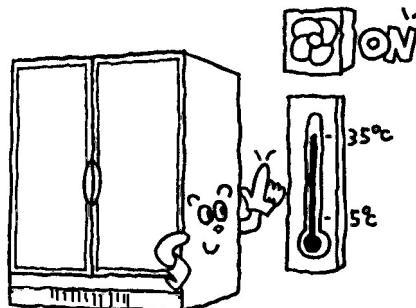
1. 据付け工事



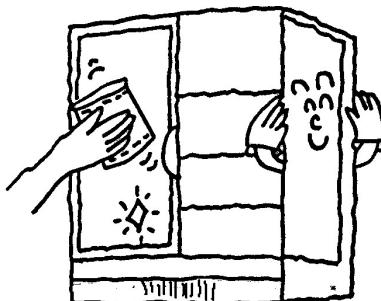
2. 据付け工事終了時の確認

- 据付け工事が終了しましたら、正しい工事が行われていることを『据付工事説明書の据付作業終了時の確認』の据付作業確認証に従って確認してください。この確認は、お客様が立ち会いの上、専門業者といっしょに行なってください。
- 据付工事説明書は工事が終了したとき、専門業者よりお受け取りになり、お客様ご自身で保管してください。

- 製品を設置する場所の近くには必ず換気扇を取付けてください。



- 梱包時に清掃してありますが、もう一度内部を清掃してください。



3. お知らせ

- ◎製品の据付け状態により、電話機・インターネット・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような時は製品からできるだけ離してください。
- ◎排水トラップ内に水が溜まっていると庫内に異臭や結氷が発生することがあります。このような時は、試運転後に手動除霜を行い、排水トラップに水を溜めてください。

正しい使い方

警告

ぬれた手で電源プラグ等の電気部品に触れたり、スイッチ操作をしないこと。

●感電の原因になります。



ぬれ手禁止

異常時は漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと

●異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



電源プラグを
コンセントから抜く

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

●電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



注意

電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行なわないこと（漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にすること）

●感電やショートの原因になることがあります。



禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

●スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

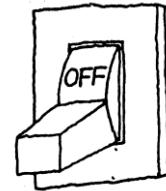
＜お願い＞

●扉を閉めた直後、開けにくいことがあります。
15秒くらいおいてから開けてください。

●扉を開ける時間は短くし、開閉回数はできるだけ少なくしてください。霜付の原因になったり、庫内各部が凍結する原因になります。

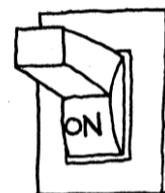
運転のしかた

1. 専用コンセントの配電ブレーカーまたは製品（漏電遮断器付き製品の場合）側の漏電遮断器が「OFF(切)」になっているのを確認してください。



2. 専用コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。

3. 専用コンセントの配電ブレーカーまたは製品（漏電遮断器付き製品の場合）側の漏電遮断器を「ON(入)」にしてください。

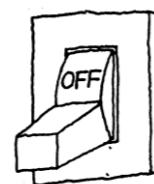


＜お願い＞

食品は「食品の入れ方」をよくお読みになってから入れてください。

停止のしかた

1. 専用コンセントの配電ブレーカーまたは製品（漏電遮断器付きの製品の場合）側の漏電遮断器を「OFF(切)」にしてください。



2. 専用コンセントから電源プラグを抜いてください。

＜お願い＞

運転をやめてからすぐに運転すると冷凍機に無理がかかり、故障のもとになります。
必ず5分以上お待ちください。

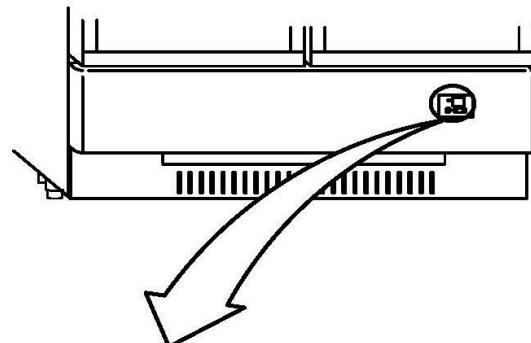
庫内温度の調節

庫内の温度設定を変更したい場合、下記の手順で行ってください。

＜設定温度範囲＞

冷蔵リーチイン	-1~10°C
冷凍リーチイン	-25~-15°C
ワイン専用リーチイン (MWS)	5~20°C

- 表示されている庫内温度は、無負荷の状態で庫内中央の温度とほぼ等しくなるように設定されていますが、食品の入れ方や扉開閉状況、庫内の場所などにより、実際の温度と異なる場合があります。



○スイッチを1秒間押します。
SET
表示部に今の設定温度が表示されます。

SET
LAMP

○設定温度を上げたい場合

- △スイッチを押して設定したい温度に変更してください。
- 希望温度に変更した後、□スイッチを押して設定完了です。

UP
SET
LAMP

○設定温度を下げたい場合

- ▽スイッチを押して設定したい温度に変更してください。
- 希望温度に変更した後、□スイッチを押して設定完了です。

DOWN
SET
LAMP

工場出荷時設定温度

冷蔵	5°C	冷凍	20°C	ワイン (MWS)	17°C
----	-----	----	------	-----------	------

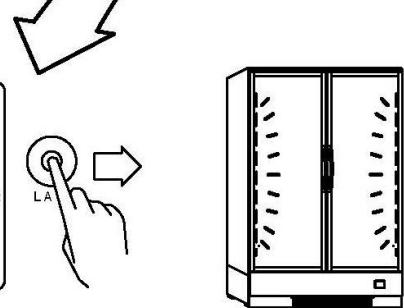
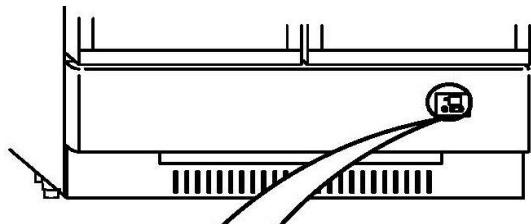
照明スイッチの使いかた

照明の点灯／消灯をしたい場合、下記のとおり操作してください。

●手動での点灯／消灯

- スイッチを押します。
点灯／消灯ができます。

※いたずら防止機能（P 12）の設定を『有効』にしている場合は、
4秒以上押してください。



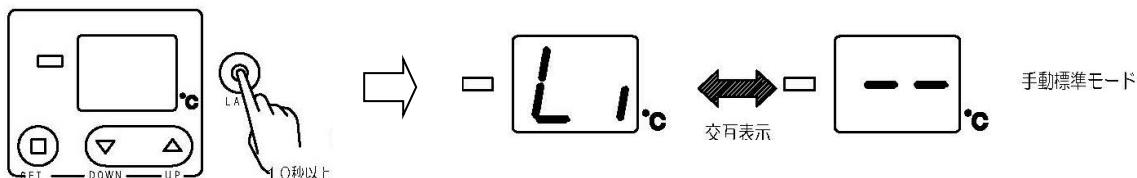
●自動サイクルモードでの点灯／消灯

あらかじめ設定することで、一定の時間おきに点灯／消灯を自動で行うことが可能です。

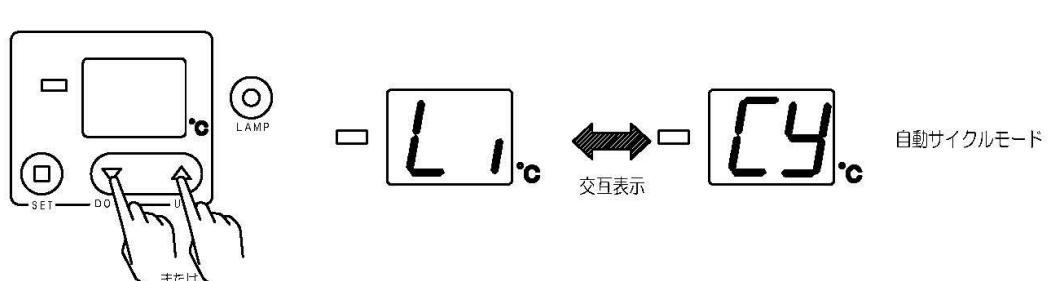
以下の手順にしたがって設定してください。

例：照明ON点灯時間＝8時間 照明OFF消灯時間＝4時間

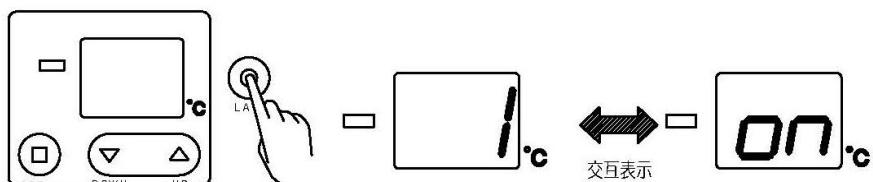
1. ○ スイッチを10秒以上押します。
表示部に現在の設定と“L i”が交互で表示され、標準手動モード／自動サイクルモードの選択設定に入ります。



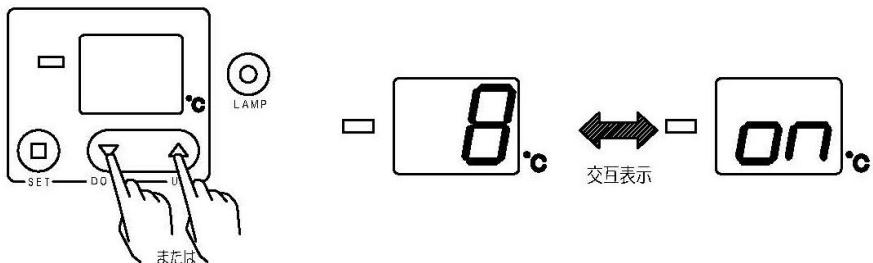
2. △ または ▽ スイッチを押して自動サイクルモードに変更します。



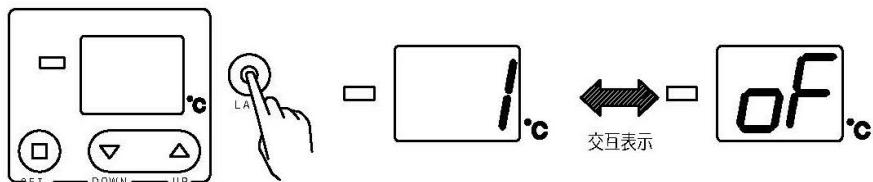
- スイッチを押して照明ON点灯時間設定に移ります。



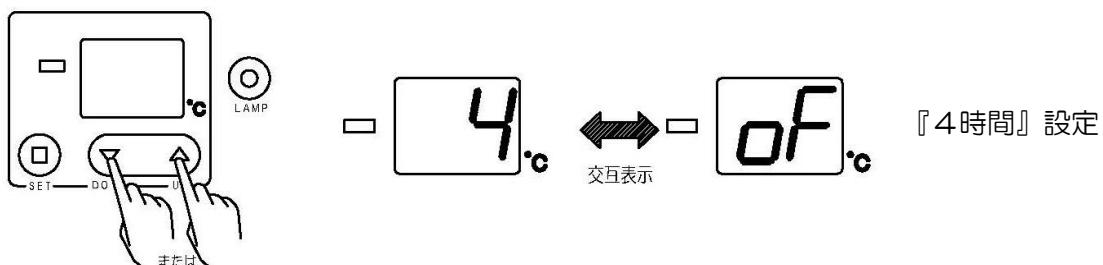
3. \triangle または ∇ スイッチを押して照明ON点灯時間を設定します（設定可能範囲1～24時間）。



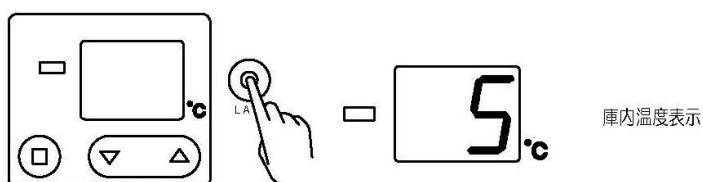
- ◎ スイッチを押して照明OFF消灯時間設定に移ります。



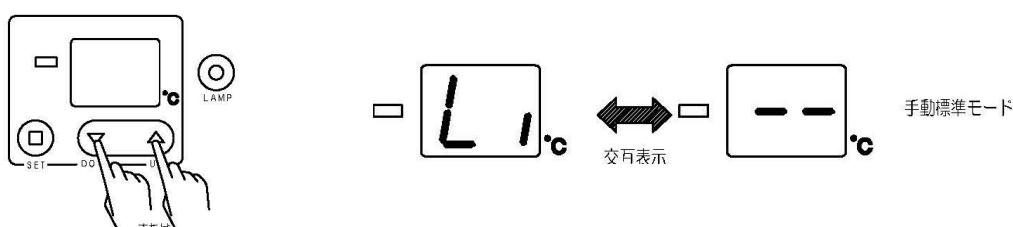
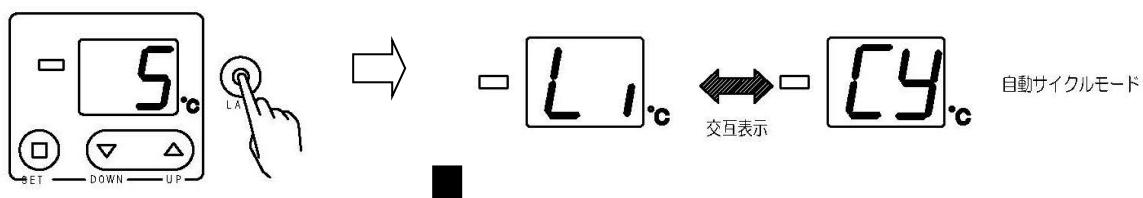
4. \triangle または ∇ スイッチを押して照明OFF消灯時間を設定します（設定可能範囲1～24時間）。



- ◎ スイッチを押して完了です。消灯からスタートします。



- 点灯からスタートさせたい場合、点灯または消灯に入るタイミングを変更したい場合は手動で点灯／消灯作業をしてください。その時点から自動サイクルモードがスタートします。
- 標準手動モードへ戻すときは、同様の手順で “C y” から “—” に変更します。



霜取りおよび排水

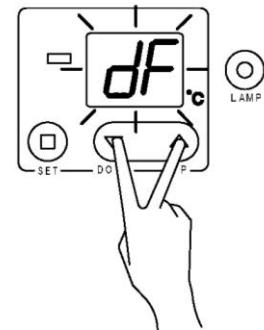
この製品の冷却器について霜は、毎日4回自動的に霜取りが行なわれ、取り除かれます。霜取り中は庫内／設定表示に”dF”が表示されます。霜取りが終了すれば自動的に冷却運転となります。

- 霜取り後の温度表示は、実際の庫内温度より高く表示することありますが品温には影響ありません。
- 除霜水は排水口により蒸発皿に排水されます。

■手動霜取りについて

下記の操作を行なうことで、手動霜取りを行なうことができます。

△と▽を同時に5秒以上押す。
UP DOWN



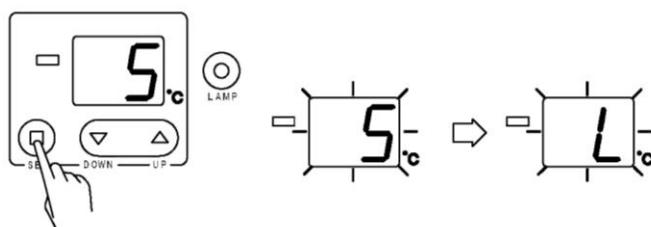
霜取りに入れば、庫内／設定表示に”dF”が表示されます。

霜取りが終了すれば自動的に冷却運転となります。

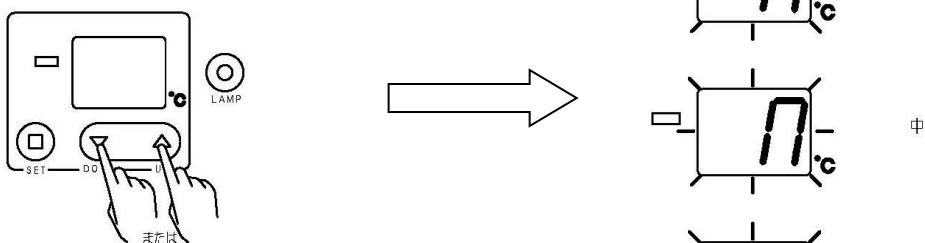
扉防露ヒーター通電率設定について

扉防露ヒーターの通電率は工場出荷時「L」(弱)に設定されています。通常は一年を通してこの設定で使用してください。季節や使用環境により、問題があれば下記の手順で設定変更できます。

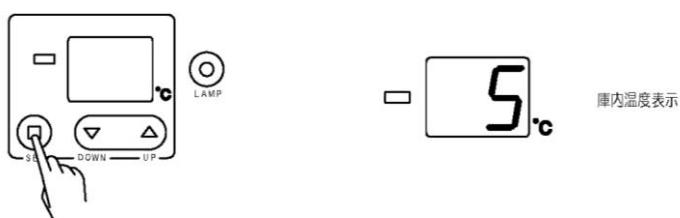
1. ○スイッチを5秒以上押します。
SET表示部に現在の扉防露ヒーター設定値を表示します。



2. △または▽スイッチを押して設定してください。
UP DOWN



3. ○スイッチを押してください。
庫内温度表示に戻れば設定完了です。

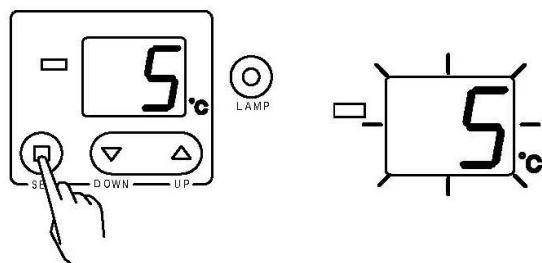


※いたずら防止機能(P12)の設定を『有効』にしている場合は設定できません。

いたずら防止機能設定方法

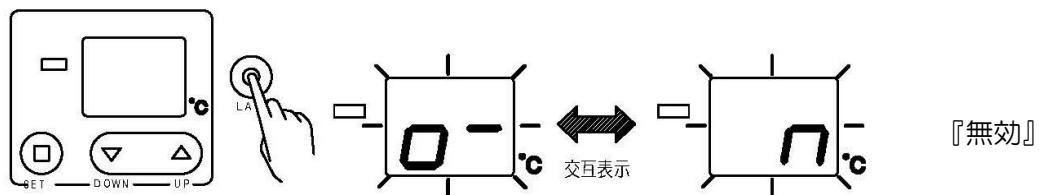
いたずら防止機能を『有効』にすることで設定温度を変更できないようにすることができます。

1.   スイッチを1秒間押します。
表示部に現在の設定温度を表示します。

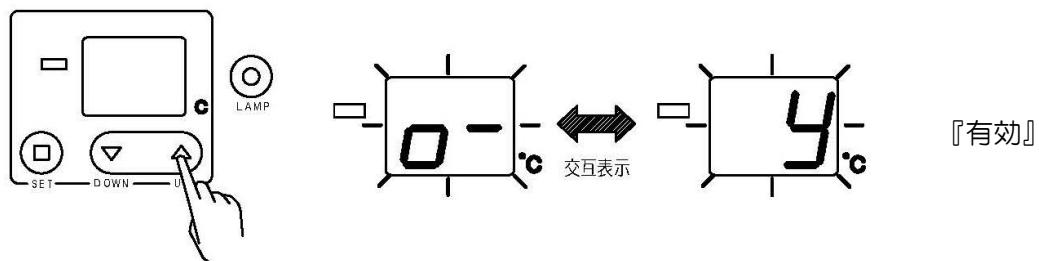


2.  スイッチを2秒以上押します。

表示部に現在の設定（いたずら防止機能：工場出荷時設定『無効』）と“○—”が交互に表示され、いたずら防止機能の『有効／無効』選択設定に入ります。

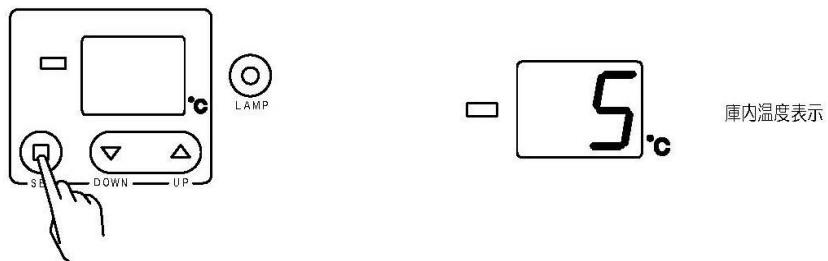


3.  スイッチを押して、『有効』に設定します。



4.   スイッチを押してください。

庫内温度表示に戻れば設定完了です。



※『有効』時は庫内温度・防露ヒーター通電率の設定変更ができません。『無効』にしてから行ってください。
なお、『有効』時の手動による照明の点灯／消灯はスイッチを4秒以上押すことで対応可能です。

棚板・棚網の使いかた

⚠ 注意

棚板・棚網の取付けは、正しく確実にセットすること

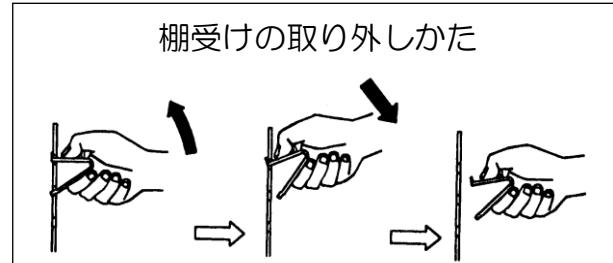
●脱落するとケガの原因になることがあります。



注 意

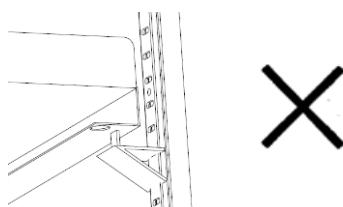
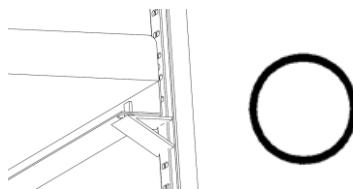
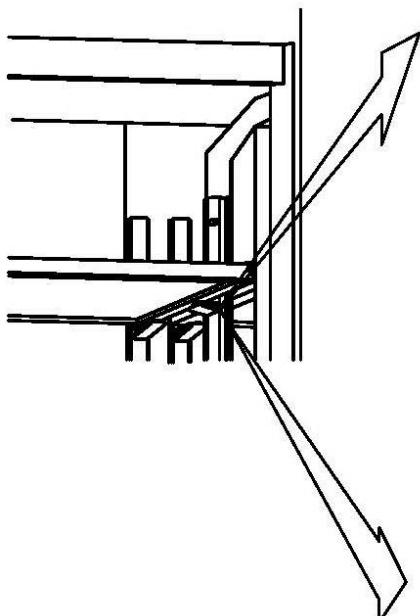
棚板・棚網の高さは必要に応じて、下記の手順で変更してください。

- ①棚板・棚網に載っている食品を全て取り除いてください。
- ②棚板・棚網を外してください。
- ③棚受けを取り付けたい高さの所に変更してください。
棚受けは矢印の方向に力を入れて持ち上げると、外れます。
再度、取り付けるときには逆の手順で上の爪を先に
取り付け、力を入れて下の爪を確実に取り付けてください。
- ④棚板・棚網を水平に置いてください。

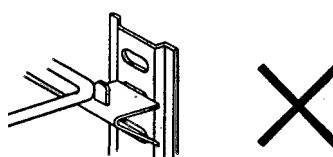
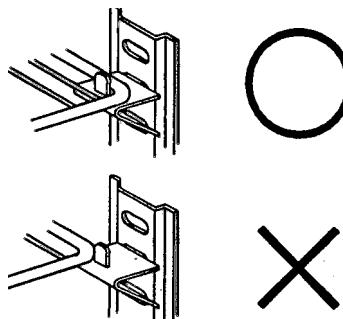


棚板：必ず棚受けの爪を棚板の下面の穴にはめて
置いてください。

※棚板には取付向きがあります。
必ず全ての棚板の爪を、棚板の下穴に
はめて置いてください。



棚網：必ず棚柱と棚受けの爪の間になるように置
いてください。



食品の入れかた

⚠ 警告

揮発性、引火性のあるものは
庫内に入れないこと

●爆発や火災の原因になります。



引火物禁止

⚠ 注意

食品の展示販売用として使用
すること

●目的外の用途でご使用されますと
保存品の品質低下などの原因に
なることがあります。



用途注意

棚板・棚網には1枚当たり60kg
以上の物を乗せたり、投げ入れた
りしないこと



●棚板・棚網の落下によりケガの
原因になることがあります。

禁 止

冷凍リーチインにはビンやカン
類を入れないこと



●中身が凍って割れ、ケガの原因に
なることがあります。

禁 止

冷蔵リーチイン、ワイン専用
リーチインの吹出口にはビン
やカン類を入れないこと



●中身が凍って割れ、ケガの原因に
なることがあります。

冷凍リーチイン内の食品や容器、
特に金属製のものには、
ぬれた手で触れないこと

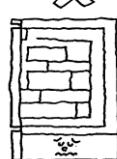
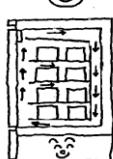


●凍傷の原因になることがあります。

接触禁止

<お願い>

●食品で吹出口、吸入口をふさがないでください。
霜付の原因になったり、庫内各部が凍結する原因にな
ります。また、冷えが悪くなり、食品が傷んだり、冷
凍機に負担がかかり、故障の原因になります。

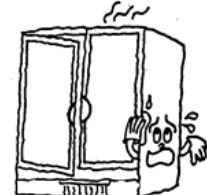


●冷気の通路を十分にあけてください。

●食品は庫内温度に合ったものを入れてください。

●食品は棚板・棚網からはみ出しておかいでください。
扉にあたり、完全に閉まりきらなかったり、すきまが
開いたりして霜付の原因になったり、庫内各部が凍結
する原因になります。また、冷えが悪くなり、食品が
傷んだり、冷凍機に負担がかかり、故障の原因にな
ります。

●扉を開けたままにしたり、完全に閉まりきらないま
で使用しないでください。



霜付の原因になったり、庫内
各部が凍結する原因になります。
また、冷えが悪くなり、食品が
傷んだり、冷凍機に負担がかか
り、故障の原因になります。

●冷凍リーチインは冷凍食品の
保存用ですので食品の
“フリージング（凍結）”
はやめてください。



●冷凍リーチインにアイスクリームを入れると、霜取り
時等にアイスクリームがゆるくなる場合があります。

●酢酸やイースト菌・塩分を含んだ食品はリーチインの
金属部分の腐食を早め配管穴あきによる冷却不良や内
箱腐食による水漏れなどの原因になりますから、密封
容器に入れたり、ラップに包んで貯蔵してください。
また、定期的にお手入れと点検に従い、内外装の清掃
を行なってください。

●水分の多いものや、新鮮な野菜、臭いのある魚などは、
ラップや容器などで密封してから入れてください。そ
のまま入れますと乾燥したり、霜付きのものにな
ったり、臭いがものに移ったりします。

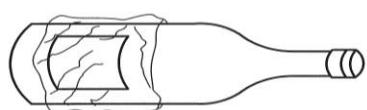
●熱いものは、さましてから入れてください。

熱いまま入れますと庫内温度が
上昇し他の食品に悪い影響を
与えます。



●ワインを長期間保存すると、ラベルにカビが発生する
ことがあります。

保存の前に、ラベル部分にラップを巻き付けラベルが
空気に触れないようにするとカビの発生を防げます。



お手入れと点検

! 警告

製品に直接、水をかけないこと

- ショート・感電の原因になります。



水掛け禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行なわないこと

- 分解・修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。



分解禁止

いかなる場合も改造は行なわないこと

- 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。



改造禁止

電気装置や内部配線には触らなこと

- 感電の原因になります。



感電注意

! 注意

掃除をするときや点検のときは必ず漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと

- 感電やファンによるケガ、ヒーターによる火傷の原因になることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

くお願い>

- LED照明の交換が必要となった場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。交換には資格が必要です。

くお願い>

- 掃除は、逆性石けん（塩化ベルザルコニウム）の使用をおすすめします。

- クレンザー、酸類、アルコール、ベンジン、ガソリン、オゾン水、シンナー、アルカリ性洗剤、塩素系殺菌消毒剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）、熱湯などは使わないでください。
(製品のプラスチック・金属類を傷めことがあります。)



- 露がついたら……

キャビネット表面に露がつきましたら、1日1回程度、柔らかい布で拭き取ってください。露がついたまま放置しておきますとキャビネット表面に錆やシミが発生しますのでキャビネット表面の手入れを良くしてください。

- 電源プラグを抜いてもしばらくはファンなどが動いていますので、3分以上待ってから点検・掃除を始めてください。

- 電源プラグを抜いた後は、点検・清掃中に誤って差し込むことがないように手元に置いてください。

- 電気装置や内部配線には絶対触らないでください。

- 洗剤を使った後は、洗剤分が残らないように拭き取ってください。

注) 溶剤を含む洗剤（例えばマジックリン等）は使用しないでください。

樹脂部分が劣化し、クラック・割れが発生する場合があります。お手入れをする場合は、ぬるま湯か水で薄めた食器用の液体洗剤を染み込ませた布で拭いた後、乾いた布で仕上げてください。

- 蒸発皿の容量は決まっていますので、庫内を流水などで洗わないようにしてください。
(蒸発皿から水が溢れ、床に浸水する可能性があります。)

定期点検について

本製品を効率よくご使用いただくためには、お客様ご自身での点検や、技術者の定期点検による定期交換部品の交換などの整備が必要です。

毎日のお手入れ

●内外装

庫内に水がたまつた場合は、布で拭きとってください。

扉、取手は雑菌の付きやすいところです。乾いた柔らかい布で拭いてください。

汚れのひどいときは、ぬるま湯か水でうすめた食器用の液体洗剤をしみこませた布で拭いてください。

外装はクレンザーやタワシやスポンジなどで磨かないでください。傷がつきます。

1週間に1回のお手入れ

●扉パッキン

パッキンはいつもきれいにしておいてください。汚れた場合は、ぬるま湯をしみこませた布で拭いてください。食品のカスや汁などをつけたまま使用したり、アルコールでの清掃を行うと早く傷みます。

●蒸発皿

霜取りで溶けた水は自然蒸発しますが、梅雨時や湿度の高いときには蒸発しきれない場合があります。蒸発皿に水がたまつていれば捨てるようにしてください（捨てない場合は、床に水がこぼれことがあります）。

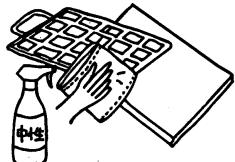
ゴミやホコリがたまると蒸発しにくくなりますので月に一回程度取り出して水洗いしてください。

1カ月に2~3回の点検

●棚板・棚網

取り外して水拭き、または水洗いしてください。

汚れのひどいときは、中性洗剤を入れたぬるま湯でまる洗いしてください。



●フィルター

凝縮器フィルターにほこりやゴミがたまりますとリーチインの冷えが悪くなったり、

機械の故障の原因となります。月に3回程度、定期的に下記の手順にしたがって清掃してください。



注意

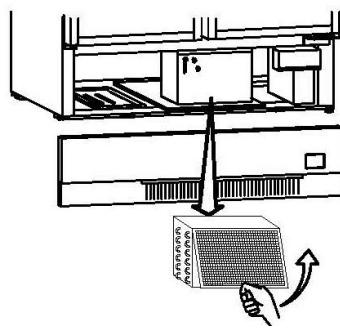
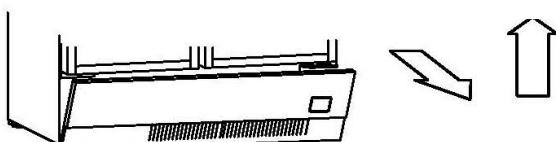
清掃のためフィルターを取り外す時は、凝縮器フィンに直接、手を触れないこと

●ケガの原因になることがあります。



接触禁止

1. 下図のように機械室パネルを上に持ち上げて、手前に引いて取り外します。
2. 凝縮器フィルターの下部のツマミを持ち上げ、手前に引いて取り外します。
3. 取り外した凝縮器フィルターは、たわし等で水洗いしてください。
4. 逆の手順で、外した凝縮器フィルターを取付けたあと、機械室パネルを閉めて固定してください。



1カ月に1回の点検

●漏電遮断器

⚠ 注意

漏電遮断器は月に1回以上動作確認すること

●漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに作動せず、感電の原因になることがあります。

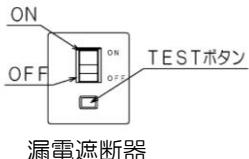


動作点検

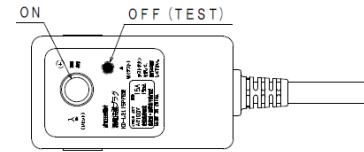
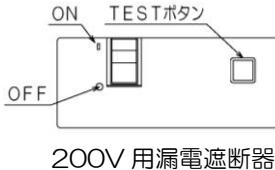
製品の電源が入っていることを確認してください。

1. 機械室パネルを開けます。
2. 電装箱やプラグに設置してある漏電遮断器の【TEST】ボタンを押してください。
3. スイッチが【OFF】側に倒れ、製品の電源がOFFし、温度表示が消えます。
4. 漏電遮断器が正常に作動することを確認したら、漏電遮断器のスイッチを「ON」にしてください。電源が入り、庫内温度が表示されます。

100V機種



100V/200V両電源機種



100V用漏電保護付きプラグ

1年に1~2回の点検

●電源プラグ

⚠ 警報

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

●ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。



専用電源

電源コードを傷つけないこと

●加工したり、引っ張ったり、束ねたり、重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



電源は専用コンセントを使用すること

●電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱・火災の原因になります。

点検手順

1. 電源プラグが専用のコンセントに入っているか確認してください。他の機器と共に用している場合は専用コンセントにしてください。
2. 電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物が載ったり、はさみ込まれたりしていないことを確認してください。異常の場合は、すぐに最寄りの販売会社へ修理を依頼してください。
3. 電源プラグの刃と刃の取付面およびコンセントにホコリがついていない事を確認し、ホコリがついている場合は掃除してください。

●排水の点検

⚠ 注意

排水ホースや排水トラップに詰まりがないか、年に1~2回点検を行うこと

●排水ホースや排水トラップが詰まると、漏水から周囲（家財等）をぬらす原因になることがあります。



排水点検

1. 排水ホースの接続部より水漏れがないか確認してください。異常の場合は、すぐに最寄りの販売会社へ修理を依頼してください。
2. 排水ホースやトラップにゴミが詰まっているか確認してください。詰まりますと、床に水があふれますのですぐに最寄りの販売会社へ修理を依頼してください。
3. 排水トラップに水が溜まっているか確認してください。溜まっている場合は異臭防止のため、水を排水トラップに入れてください。また、製品の仕様や使用環境によっては水が溜まりにくい場合もあります。そういう傾向がみられる場合は点検の頻度を増やしてください。

修理を依頼する前に



注意

異常時は漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグを抜くこと

●異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



電源プラグを
コンセントから抜く

●製品に異常が生じたときは、次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、ご相談されるときはこの製品の形名・製造番号(No.)および、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

このようなとき	説明
ぜんぜん冷えないとき (運転しないとき)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがはずれていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●電圧が低くありませんか。 ●漏電遮断器が『OFF(切)』または配線ブレーカーやヒューズが切れていませんか。
よく冷えないとき	<ul style="list-style-type: none"> ●温度調節器の設定は適正ですか。 ●扉の開閉がひんぱんではありませんか。 ●扉はピッタリしまっていますか。 ●食品が入りすぎていませんか。 ●日光の直射をうけていませんか。 ●まわりの風通しはよいですか。 ●温かい食品は入っていませんか。 ●凝縮器フィルターにゴミがついていませんか。
冷えすぎるとき	<ul style="list-style-type: none"> ●温度調節器の設定は適正ですか。 ●周囲の温度が5°C以下ではありませんか。
扉および外装などに露がつくとき	<ul style="list-style-type: none"> ●扉は完全に閉まっていますか。 ●梅雨、夏期および雨の日など湿気の多い日には露がつくことがありますか、これは故障ではありません。ときどき拭きとってください。 ●内部が冷えすぎていませんか。
騒音がするとき	<ul style="list-style-type: none"> ●床はしっかりしていますか。 ●水平に据え付けてありますか。 ●製品本体とまわりの他のものとぶれあっていませんか。 ●機械室の中に異物が挟まっていますか。
照明が点灯しないとき	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがはずれていませんか。 ●配電ブレーカーが『OFF(切)』になっていますか。 ●照明スイッチは入っていますか。いたずら防止機能を『有効』にしている場合は照明スイッチを4秒以上押してください。 ●自動サイクルモードの消灯時間に入っていますか。

●庫内温度／設定表示が下記になった場合の対応

表示	説明
3P 両電源機種のみ	(※両電源機種の場合、単相100Vのプラグだけ入れると「3P」表示します。必ず三相200Vと単相100Vを入れてください。) 三相200V電源の欠相・逆相もしくは電気がきていない場合に表示します。 電気がきていないと考えられる場合、まず配電ブレーカーを確認してください。異常がないようでしたら、配電ブレーカーの配線の入れ替えが必要になります。お買い上げの販売店にご相談ください。
dF	霜取りに入っていることを示します。霜取りが終われば、庫内温度表示にもどります。
FL	警報センサーの検知温度が5分間連続して5°C以上の場合「FL」を点滅表示し、4.5°C以下になれば庫内温度表示にもどります。この場合、設置条件が悪い場合が考えられます。点検をして「FL」表示が消灯するように処置してください。
HP	冷凍機周辺の温度が非常に高い場合に表示します。換気扇の設置等の処置を行なってください。正常にもどります。
LH	設定温度より庫内温度が1°C高い状態が続いた場合表示されます。庫内温度が下がると、庫内温度表示にもどります。
Lo	設定温度より庫内温度が1°C低い状態が続いた場合表示されます。庫内温度が上がると、庫内温度表示にもどります。
Co	圧縮機の保護回路が作動した場合に表示されます。1時間以上、表示が消えない場合は、電気部品の故障が考えられます。お買い上げの販売店へご相談ください。
Fc・-Fc	お買い上げの販売店へご相談ください。
E0・E1・E2 E5 -E0・-E1 -E2・-E5	各種温度センサーの異常が考えられます。お買い上げの販売店へご相談ください。

7, 8の表示が出た場合や3, 4, 5, 6の表示が繰り返し出るような場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

10	AL (オプション)	集中監視している場合の通信異常時に表示します。通信配線や機器の異常が考えられます。お買い上げの販売店へご相談ください。
----	---------------	-------------------------------------------------------------

移設・廃棄・譲渡

移設

⚠ 警告

移設は、販売店または専門業者に相談すること

- 据え付け不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



専門業者

- 転居の際は住所変更先をお買い上げの販売店へご連絡ください。
- 長距離の運搬移動の際には厳重に荷造して、横積み・逆積みなどしないようにしてください。

廃棄

⚠ 警告

廃棄は専門の業者に依頼すること

- 放置しますと幼児が閉じこめられるなど事故の原因になります。適切な廃棄を行わない場合、違法行為となり罰則が課せられます。



専門業者

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避け扉に鍵をかけて保管すること

- 幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります。



専門業者

- 必ず、蝶番または錠の所を壊して扉が密閉できないようにしてください。
- この製品は「特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」の第1種特定製品です。廃棄するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。(有料)
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、無断で廃棄されますと違法行為となり、罰則が課せられます。
- 幼児が遊ぶような所には放置しないでください。

譲渡

⚠ 警告

譲渡の際はこの取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

- 新しく所有者となる方が安全で正しい使い方を知るために必要となります。



注意

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（本取扱説明書の裏表紙）

- ・このリーチインショーケースには、「保証書」を添付しております。
- ・保証書は、必ず「お買上日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
(無記載や書きかえ、紛失した場合は保証期間内でも保証修理をお断りする場合があります)。
- ・この製品の保証期間は、お買上いただいた日から1年間です。ただし圧縮機・冷却器は2年間です。
その他くわしくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ・リーチインショーケースの補修用性能部品の保有期間は製造打切後9年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談について

- ・修理に関するご相談や不明な点は、お買上の販売店または、お近くの当社支店、営業所にご相談ください。
なお、当社支店、営業所の所在地、電話番号は当社ホームページの「フクシマガリレイについて」→「事業所ネットワーク」でご確認ください。
(URLは裏表紙に記載しています。)

修理（出張修理）を依頼されるときは

- ・ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買上の販売店にご連絡ください。
その際、保証書に記入いただいた内容と訪問ご希望日をお知らせ下さい。
修理は専門の技術が必要です。また、食品の補償、営業補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。(ご提示がない場合、保証期間内でも保証修理をお断りする場合があります)。

保証期間が過ぎているときには

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

お電話でのお問い合わせ 0120-213-521
受付時間 9:00~17:00 (土日祝、年末年始を除く)

長年ご使用の機器の点検について

安心してお使いいただくために、定期的な点検・お手入れを！

チェックポイント	お手入れと対策
製品の周囲に隙間がない、あるいは凝縮器フィルターが詰まりていませんか。	排熱が悪くなつて冷却性能が弱まり、電気代のムダになるので、隙間をあけてください。 凝縮器フィルターは取扱説明書に従い定期的に清掃してください。
電源プラグや電源コードが製品本体や他の製品で押し付けられていませんか。	電源プラグが損傷しないよう、隙間をあけて設置してください。
電源プラグをコンセントに差し込んだ時、差し込み状態がゆるくガタついていませんか。	異常の場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
電源プラグ、コンセントの周囲にホコリや湿気がついていませんか。	電源プラグをコンセントから抜いてから乾いた布でホコリや湿気を取り除いてください。
雨水がかかる可能性がありませんか。	製品は屋内用です。雨水のかかる場所でご使用されると漏電・感電の原因になります。必ず屋内でご使用ください。

以下のような異常を見つけた場合は、直ちにご使用を中止し、漏電遮断器または配電ブレーカーを『OFF(切)』にしてから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードの被覆が破れている、挿まれつぶれた跡、かじられた跡がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体にさわるとピリピリと電気を感じる。
- 漏電遮断器もしくは配電ブレーカーが動作する。
- 異常音や異常振動がする。
- 運転音が異常に大きくなつた。

「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づく管理者(所有者・使用者)の法的責務。

1. 3カ月に1回以上の簡易点検：管理者による冷媒漏えい兆候の有無(冷え具合や氷の出来、配管の腐食など)の目視確認できる範囲。
2. 1年に1回以上の定期点検：専門知識を有する者による点検(電動機の定格出力が7.5kW以上製品のみ)。

○整備結果記録は設置から廃棄あるいは譲渡するまで保管してください。

製品保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。下記の内容を全てご記入の上、保管下さい。

下記の保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店へ修理をご依頼下さい。無料修理をさせていただきます。

形名	お客様	ご住所 〒 TEL.
※形名・製造番号は庫内に貼付している定格銘板に記載しています。	年月日	お名前 ふりがな
販売店様押印欄/店名シール添付欄	保証期間	お買上げ日より 本体：1年 圧縮機・冷却器：2年
※販売店様の押印がない場合は、ご購入を証明する書類と一緒に保管してください。		

無料修理規定

- 1.保証期間内に、正常なご使用状態において万一故障した場合には、無料で修理いたします。
- 2.つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
①本書記載内容を書き換えられた場合、または記載内容が事実と異なる場合
②以下の現象等、不具合と認められないもの。
 - ・通常の使用消耗、経年変化による現象(プラスチック部品・塗装面・メッキ面・自然退色・劣化・剥離等)
 - ・性能上問題がないことが一般的に認められている現象(通常の運転音・振動・操作感)
- ③以下のような外的要因による不具合で、当社責任ではないもの。
 - ・火災、地震、水害、落雷、塩害、有毒ガス、薬品、その他の天災地変、公害や異常電圧、ノイズによる故障及び損傷
 - ・給排水管の破損、異物の詰まりによる不具合
 - ・給水(または規定の水圧)、給電(または規定の電圧)が行われなかつたことに起因する不具合
- ④以下のような適切な使用・管理が行われていないことに起因するもの。
 - ・法令等で定められた安全性確保に関する日常及び定期的な点検整備未実施による不具合
 - ・本説明書、本体貼付けラベルに記載されている以外の不適切な使用条件、環境、取扱い、使用方法、用途、及び不注意や過失等に起因する不具合
 - ・お買上げ後の輸送、移動時の落下などによる故障及び損傷

- ・通常の注意で発見・処置できたにもかかわらず放置したことにより拡大した不具合
- ・当社指定の部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことによる不具合
- ・当社指定技術者以外による修理や改造による故障及び損傷
- ・他製品によるノイズ・電波等、本製品以外を原因とする不具合
- ・寒冷時における製品内の凍結による不具合
- ・車両、船舶などに、備品として使用した場合に生じる故障及び損傷
- ・定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合

3.この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

4.ご転居の場合は、新住所をご記入ください。

5.離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなつた場合は、出張に要する実費を申し受けます。

6.この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

したがつて、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などにつきまして、ご不明の場合はお買上げの販売店、またはお近くの当社支店、営業所にご相談ください。

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2-6-18 TEL (06) 6477-2011

<https://www.galilei.co.jp/>

お電話でのお問い合わせ 0120-213-521

受付時間 9:00~17:00 (土日祝、年末年始を除く)

※この取扱説明書の内容は2023年1月現在のものです。

H3062500

GALILEI

フクシマガリレイ株式会社

切り取り線(このページを切り取って大切に保管してください)

リーチインショーケース

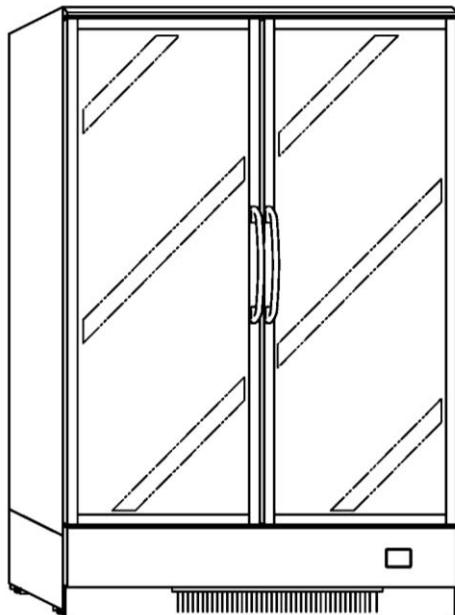
据付工事説明書

形名

MRSシリーズ

MRFシリーズ

MWSシリーズ



もくじ

●据付工事	23
●電気工事	24~25
●据付け終了時の確認	27
●試運転	27

- この商品を安全に正しく据付けていただくために、据付工事の前に据付工事説明書をよくお読みになり
この据付工事説明書にしたがって確実に据付けを行なってください。
- 据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用
方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この据付工事説明書は工事完了後、お客様にお渡しし、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように
依頼してください。

据付工事説明について

■据付工事



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼すること

●ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。



専門業者

据付け工事は、本書に従って確実に行うこと

●据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。



よく読む

屋外で使用しないこと

●雨水のかかるところでご使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据付けないこと

●絶縁低下から漏電・感電の原因になります。



水掛け禁止

酸などの腐食性ガスのある場所に据付けないこと

●冷却回路や電気部品の腐食により絶縁が低下して漏電・感電・故障の原因になります。



禁止



注意

床面が丈夫で平らな所に水平になるように据付け、転倒防止の処置をすること

●据付けに不備があると水漏れ・転倒・落下によるケガなどの原因になります。



設置注意

製品の上にものを置かないこと

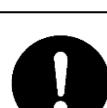
●転倒・破損・落下などによりケガをしたり、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。



禁 止

水にぬれても大丈夫な所に据付けること

●使用条件等によっては結露水などが床に落ちることがあり、家財をぬらしたり、足をすべらして転倒する等ケガの原因になります。



設置注意

<お願い>

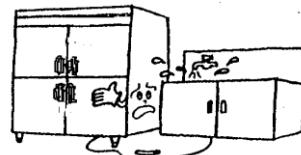
●風通しの良いところに据付けてください。
必ず後側は 100mm 以上あけてください。



※フィルターの取り外しやメンテナンスのため、必ずあけてください。

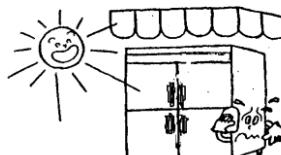
●床がぬれてもよいところに据え付けてください。
湿度が高いときは、外装に結露が発生し滴下することがあります。製品を並べる場合、製品と製品の間にもすきまをあけてください。すきまをあけないと結露が発生しやすくなり、床をぬらす原因になります。

●湿気の少ないところに据付けてください。
湿った床、流し台のそばには据え付けないでください。



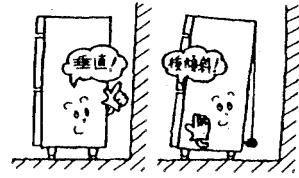
●熱の届かないところに据付けてください。

直射日光の当たる所や、発熱器具のそばは特に避けてください。冷えが悪くなります。



●垂直か後傾斜に据え付けてください。

扉の閉まりを良くしたり除霜水の流れを良くするために、製品は垂直または少し後ろに傾けて据付けてください



<お知らせ>

●製品の据付け状態により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような時は製品からできるだけ離してください。

電気工事



警告

電気工事業者によるD種接地工事を実施すること



- アースが不完全な場合、感電の原因になります。

接続せよ

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」及びこの取扱説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用すること



- 電気回路容量不足や施行不備があると、感電・火災の原因になります。

専用回路

専用電源には漏電遮断器を取り付けること



(漏電遮断器付きの製品には不要です。)

- 販売店、または資格のある専門業者にご相談ください。

漏電遮断器が付いていない場合は感電または火災の原因になることがあります。

ぬれた手で電源プラグ等の電気部品に触れたり、スイッチ操作しないこと



ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

保護装置の設定値変更はしないこと



- 製品の破裂・発火の原因になります。

禁 止



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと



- 電源コードを引っ張って抜くと芯線部が遮断して発熱・発火の原因になることがあります。

注 意

電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと



- 感電やショートの原因になることがあります。

禁 止

製品にあった電源回路容量を確保し、適した配電ブレーカーを設けてください。

単相 100V 電源

MRS-060GWSR1	MRS-060FWSR1	15A
MRS-120GWSR1	MRS-060FWSR1-15	
MRS-180GWSR1		
MRF-120GWSR1		
MRF-180GWSR1		
MWS-060GWSR1		

単相 100V 電源（両電源機種）

MRS-120GWTR1	MRS-060FWTR1	10A
MRS-180GWTR1	MRS-120FWTR1	
MRF-120GWTR1	MRS-180FWTR1	
MRF-180GWTR1	MRF-120FWTR1	
MWS-120GWTR1	MRF-180FWTR1	

三相 200V 電源

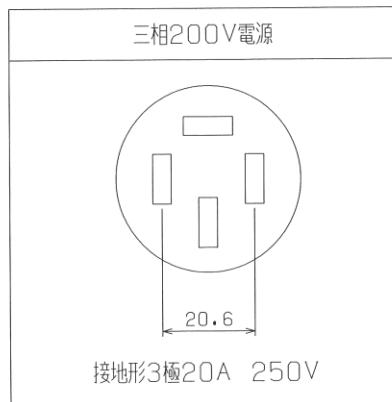
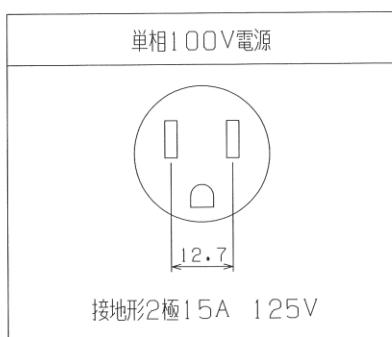
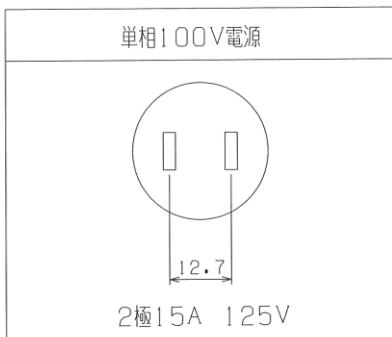
MRS-120GWTR1	MRS-060FWTR1	10A
MRF-120GWTR1	MRS-120FWTR1	
MWS-120GWTR1	MRS-180FWTR1	

MRS-180GWTR1	MRS-060FWTR1	15A
MRF-180GWTR1	MRS-120FWTR1	
	MRS-180FWTR1	
	MRF-120FMTR1	
	MRF-180FWTR1	

※両電源機種の場合、単相 100V のプラグだけ入れると「3P」表示します。必ず三相 200V と単相 100V を入れてください。

●コンセントの寸法について

製品にあったコンセントを設けてください。
単相 100V 機種では接地極付コンセントを使用して
ください。
(両電源機種を除く)

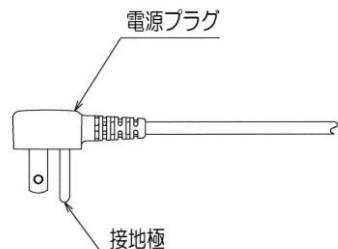


●単相 100V 機種のアース線の接続について

単相 100V 機種では機種により電源プラグが異なります。

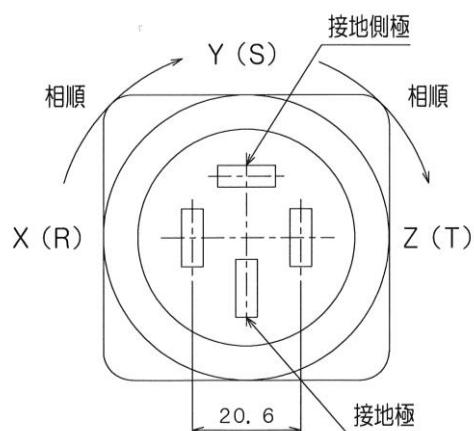
接地極付電源プラグの場合

コンセント側で必ず接地工事を行ってください。



●三相 200V 電源のコンセント接続方法について

三相 200V のコンセントは正面からみて、下図の
ように接続してください。



MEMO

据付け終了時の確認

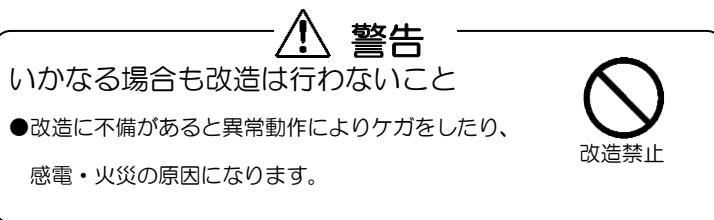
据付工事が終了したら、お客様立ち合いのうえで、「据付作業確認証」にあるチェック項目を確認してください。すべての項目確認のうえ、お客様のサインをいただき、工事担当者もサインしてください。

試運転

取扱説明書の「運転のしかた」に従って、運転してください。

三相200V機種で取扱説明書の「運転のしかた」に従って操作しても圧縮機が始動しない場合は「電気工事」の三相200V電源コンセントの接続方法を確認してください。

（製品には相回転の方向及び欠相の有無を検知して圧縮機の欠相運転を防止する装置が組み込まれています。）



＜お願い＞

運転を始めてから2時間ぐらい経過してから、庫内が仕様通り冷えているか温度を確認してください。

据付作業確認証

- ① アース工事は確実ですか。
- ② 専用コンセントを使用していますか。
- ③ 電源は製品の仕様に合っていますか。
- ④ 電源電圧は仕様の90~110%の範囲に入っていますか。
- ⑤ 電源コードを傷つけていませんか。
- ⑥ 床面は丈夫で平らですか。
- ⑦ 製品は水平に据付けられていますか。
- ⑧ 周囲温度は5~35℃の範囲ですか。
- ⑨ 換気扇・給気口は取り付けましたか。
- ⑩ 庫内は仕様通り冷えますか。

チェック年月日 年 月 日

チェック者

お客様

工事会社担当者